

(仮訳)

プレス・リリース

2020年4月2日

FSB メンバーによる重要な金融サービス機能の 継続性を確保するための対応

金融安定理事会（FSB）メンバーは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行によってもたらされる金融リスクを低減するため、国ごとに、または協調して、互いに連携して対応し続けている。こうした中、3月30日にFSB本会合が電話会議形式で開催され、市場機能をサポートし、家計および企業に対する信用供与を維持するための様々な行動について検討した。

電話会議における主要な議題の一つは、多くの金融サービスの重要な機能、およびパンデミックの期間を通じて金融機関の業務を確保することの重要性であった。多くの金融機関は、比較的短期間で、大規模な遠隔業務への切り替えをうまく成し遂げた。それでもなお、多くの金融サービス関連企業では、重要な機能を稼働させ続けるために、少数の必要不可欠な人員が現場にいる必要がある。これらの重要な機能には、顧客に現金、電子決済およびその他の銀行業務、貸出業務へのアクセスを提供すること、必要に応じて支店やコールセンターの営業を継続すること、政府の支援プログラムに基づく請求に応じること、保険サービス、リスク管理、データやセキュリティ関連業務部門への人材配置等の金融業務のサポート、主要業務の提供を行うサードパーティ事業者をサポートすること、が含まれる。公衆衛生当局がソーシャル・ディスタンス政策を実施している場合は、企業はこうした施策に対応するため、金融サービスの重要な機能の継続性を確保しつつ、適切な業務継続計画を発動し、可能な限り、在宅勤務を促進しなければならない。

FSB メンバーは、これらの重要な機能を担う人員の現場での執務に対する許可や、必要な IT 関連機材の提供が確実に行われるよう、中央・地方当局と積極的に連携するほか、保健安全当局に対して、これらの人員が金融システムにとって非常に重要なインフラを維持するために必要不可欠であることを認識するよう、強く働きかける。金融機関のこれらの業務がしばしば複数の法域に及ぶことを踏まえると、継続的な FSB メンバー間の協調がとりわけ重要であり、FSB メンバーは、引き続き、情報を共有し合い、協調して活動していく。

新型コロナウイルス感染症関連の FSB の作業には、(i) 金融安定上の脅威の動向や金融当局による政策対応に係る定期的な情報交換、(ii) 金融リスクや脆弱性の現状評価、(iii) グローバルな金融安定の維持、市場が開かれ機能を継続すること、および、金融システムに、COVID-19 に直面する家計や企業に役立てられ、そのことによって成長回復に資する資金を供給できるだけの信用供与の余地を確保するための政策の協調、が含まれる。加えて、FSB は、今次危機の間の FSB における作業の価値を最大化し、メンバーのリソースを有効活用するために、2020 年の作業計画における優先順位を再検討している。新型コロナウイルス感染症に対応した FSB の活動に係る詳細情報については、FSB ホームページを参照。